

## 今月の一言

### キーワード：自動車の味付けって・・・

自動車という工業製品は数え方にもよるが、約三万点の部品によって組み上げられている。走行時はそのほとんどが機能し、お互いに関係・干渉し合いながら、タイヤを通じてドライバーに情報を伝える。

それぞれの部品はときにそれぞれの性能を打ち消し合う関係にある。たとえば、サスペンションに取り付けられたゴム部品のブッシュ。（隙間を埋めたり、緩衝材として用いたりする円筒形の部品）それが柔らかければ路面の凹凸を吸収する一方で直進性や操作性が悪くなるし、固ければ乗り心地が悪化するだろう。だが、一個の部品を取り替えれば、他の部品にも影響が及ぶため、そこには無限の可能性が存在している。自動車会社のトップクラスのテストドライバーは、そのなかで絶妙なバランスやより良い乗り心地を車種ごとに追求していくエキスパートである。「自動車の味付けって究極の料理番組ですよ」とは成瀬弘と親交の深かった日産のテストドライバー・加藤博義の言葉である。「いくら言葉で美味しいといっても伝わらないでしょ。それを砂糖少々、塩少々とやって素材の埋もれている素晴らしさを引き出していくのです「僕らが食べたい味はこれだ」といくら言ってもいまの技術ではまだ完全には数値化できないですからね」

成瀬はよく「クルマは料理と一緒に、素の状態が美味しくなければ本当の良さは出ない」と語っていた。「蕎麦が不味ければ、いくら天ぷらをのつけても意味はないんだ。ワンボックスでもコンパクトカーでも、クルマは素の味を追求して始めて良くなる。家族だけではなく、運転手も1日、気持ちよく走れるクルマを目指さなければならない」つまりどんな自動車にもまずは基本となる素の味があり、室内の使い勝手や豪華さ、四輪駆動などの制御システムは後から追及すべきものだ、というわけだ。

著書：豊田章男が愛したテストドライバー 著者：稲泉 連より

## 基本を大切に！すべての素。

2016年4月25日

さいのう とおる

**追伸：寒暖差の激しい毎日です。体調管理に注意しましょう。**